

# 統合型SASE

統合型SASEを活用してネットワークと  
セキュリティを統合

Gartner社は、2025年までの予測を次のように述べています<sup>1</sup>。

- **80%の企業が、SASE/SSEアーキテクチャーを使用してWeb、クラウドサービス、プライベートアプリケーションへのアクセス権限を統合する戦略を採用する。**
- **SD-WAN関連の新規購入の50%で、単一ベンダーのSASEオフリングが選択される。**
- **65%の企業が、個別のSASEコンポーネントを1社、または2社の明示的な提携関係にあるSASEベンダーに集約する。**

## 接続とセキュリティの統合

世界はかつてないほどの速さで変化しています。この10年間で、組織はデジタルトランスフォーメーションを導入し、アプリケーションのクラウド移行、クラウドベースサービスの利用、労働力のグローバル化を実現してきました。

デジタルトランスフォーメーションは、イノベーション、創造、カスタマーエクスペリエンスの向上、効率性など、多くのメリットを組織にもたらしてきました。しかし、セキュリティとネットワークングには新たな課題も生じました。クラウド内のデータとアプリケーションの保護、あらゆる場所からアクセスするユーザーの接続、迅速かつ信頼性の高いスケールアップといった課題です。

セキュリティとネットワークングはかつて別々の機能であり、それぞれの業務はサイロ化されていました。しかし、デジタルトランスフォーメーションを導入した企業では、ニーズの増加に対応するため、こうしたチームが連携し、セキュアネットワークストラテジ/フレームワークに業務を一本化することが求められています。そこで両チームは、今日の企業を完全に接続してセキュリティ保護する単一の包括的ソリューションである、**統合型セキュアアクセスサービス エッジ (SASE)** に注目しています。

統合型SASEがあれば、セキュリティとネットワークングの両チームが連携し、次の成果を出すことができます。

### • 簡素化と効率化

この10年で、ネットワークングとセキュリティの両ソリューションは増加しました。単一ベンダーによるSASEを導入することで、両ソリューションが統合されるだけでなく、ネットワークング機能とセキュリティ機能の統合により、チーム間の障壁の緩和、複雑さとコストの最小化、部門横断的な連携と実装の最適化を図ることができます。

### • 統合

SASEコンポーネントが統合されると、ポリシーの作成と管理が一元化され、すべてのトラフィックと場所に対して一貫したポリシーが適用されるため、包括的な接続とセキュリティが実現します。

### • 柔軟性と信頼性

SASEはクラウド配信型の要素を持つため、企業は自らのニーズに基づく拡張性と適応性を持つとともに、自動的な冗長化によって信頼性の高いグローバルなアクセスを実現できます。

### • 使いやすさとパフォーマンス

統合型SASEはITチームのワークフローを合理化し、エンドユーザーのセキュアな接続を簡素化します。認可されたクラウド、エッジ、オンプレミス、インターネットリソースにエンドユーザーを自動的にルーティングすることができます。

## HPE Aruba Networkingの統合型SASEオフリング

### HPE Aruba Networking EdgeConnect SD-WAN Fabric

セキュアなSD-WANは、統合型SASEを構築し、セキュアなブランチ、WAN接続を強化するための基盤となる要素です。専用のHPE Aruba Networking EdgeConnect SD-WANアクセスソリューションは、企業組織のエッジからクラウドまでを単一のSD-WANファブリックに接続できる柔軟性を提供します。

#### HPE Aruba Networking SD-WAN | 高度なSD-WANエッジ

継続的に学習し、変化し続けるビジネスニーズに適応し、エッジからクラウドへ最高のネットワークとアプリケーションのパフォーマンスを提供します。

<sup>1</sup> 『シングルベンダーSASEのマーケットガイド』、Gartner社、2022年9月



**HPE Aruba Networking EdgeConnect SD-Branch** | 統合WLAN、LAN、SD-WAN

ブランチネットワークの各種コンポーネントとセキュリティを最大限に統合します。HPE Aruba Networking Centralによって一元化されたクラウド管理により、LTEサポートをオンボーディングできます。

**HPE Aruba Networking EdgeConnect Microbranch** | SOHO向けの高度なSD-WAN

小規模オフィス/ホームオフィス (SOHO) や一時的な勤務場所に最適な最小フットプリントのこのオプションは、一定の範囲のHPE Aruba Networkingリモートアクセスポイント (RAP) を使用して企業ネットワークにセキュアなWAN接続を提供します。

**HPE Aruba Networking SSE**

HPE Aruba Networking Security Service Edge (SSE) (旧称Atmos SSE) は、ZTNA、SWG、CASB、デジタルエクスペリエンスモニタリング (DEM) をすべて1つの使いやすいインターフェイスで対応できる最初のSSEプラットフォームです。

**HPE Aruba Networking ZTNA** | プライベートアプリケーションへのセキュアなアクセス

HPE Aruba Networkingゼロトラストネットワークアクセスは、業界で最も高度なZTNAサービスの一つです。プライベートアプリケーション (VOIP、AS400、ICMPも含む) にセキュアな1対1の接続を仲介するために、ID、ポリシー、コンテキストを使用します。他のZTNA 1.0ソリューションとは異なり、HPE Aruba Networking ZTNAは完全にVPNに代わる機能であり、ネットワークアクセスの過剰な拡大によって生じる不要なリスクを軽減できます。

**HPE Aruba Networking SWG** | インターネットへのセキュアなアクセス

HPE Aruba Networking Secure Web Gatewayは、高度なSSL検査、URLフィルタリング、DNSフィルタリングを使用してインターネットへのセキュアな高速アクセスを認可ユーザーに提供すると同時に、インターネットベースの脅威から企業を守ります。

**HPE Aruba Networking CASB** | SaaSアプリケーションへのセキュアなアクセス

HPE Aruba Networking CASBは、ユーザーとクラウドアプリケーション間の接続を仲介し、シャドーITアプリケーションの特定を支援します。HPE Aruba Networking CASBを使用すると、サイバー脅威を防いで企業の機密データを守ることができます。

**HPE Aruba Networking Experience** | 包括的なデジタルモニタリングにより、モニタリングと生産性を強化

HPE Aruba Networking Experienceは、ホップバイホップのメトリックを測定し、アプリケーション、デバイス、ネットワークパフォーマンスを監視することでユーザーの生産性をサポートするDEMオファリングです。この機能を使用すれば、IT部門は接続上の問題を簡単に特定し、平均無害化時間を短縮できます。



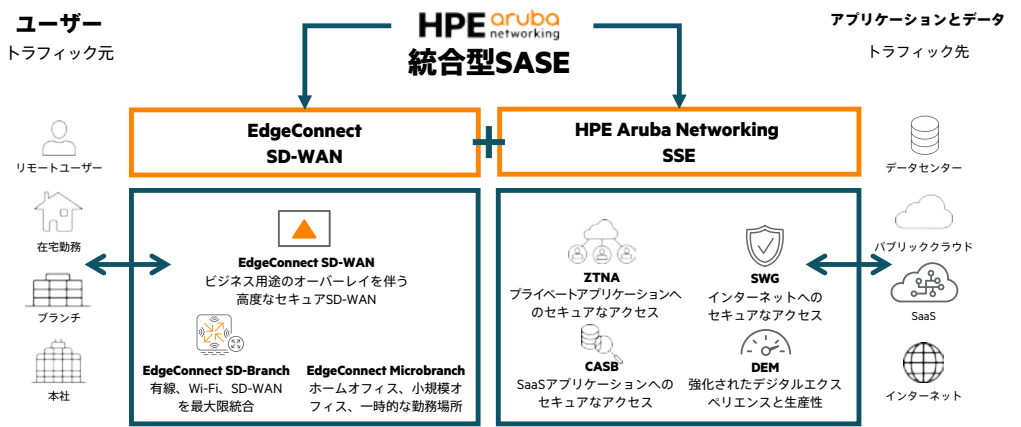


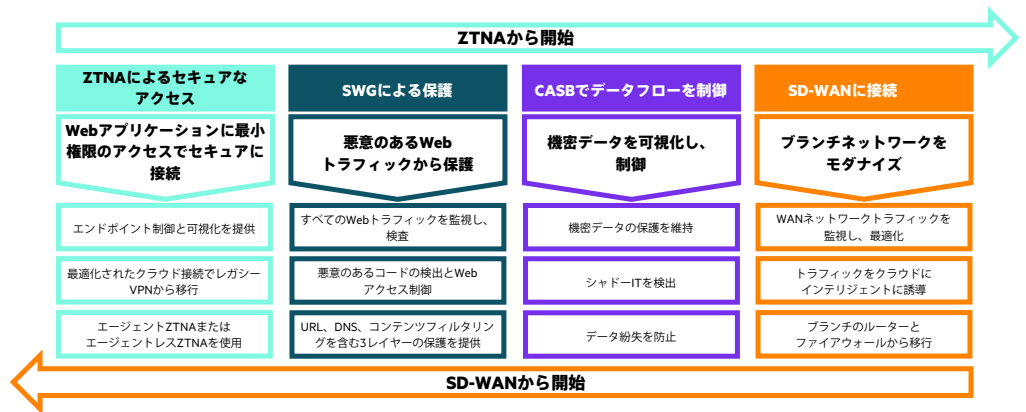
図1. HPE Aruba Networkingの統合型SASEプラットフォーム

### 統合型SASEの導入を始める

「今後12か月の間に、46%の組織がSASEアーキテクチャーを導入するだろう。」

– 2023年のPonemon Institute社レポート<sup>2</sup>

デジタル時代での成功を求めている今日の企業は、戦略上不可欠な要素としてSASEを導入する必要があります。統合型SASEを導入することで、ネットワークベースの制御に重点を置いたネットワークおよびセキュリティのアーキテクチャーと比較して、セキュリティポスチャ、ユーザーエクスペリエンス、運用効率、省コストを改善することができます。SASEの導入を検討する場合、次の2つの出発点があります。



<sup>2</sup> 『2023年のITセキュリティギャップの解消に関する世界規模の調査』、Ponemon Institute社、2023年3月

## Path 1: SSEから開始(具体的にはZTNA)

「SSE導入レポート2023」<sup>3</sup>によると、67%の企業がSASEの導入をSSEテクノロジーから始めようと考えています。これに該当する場合は、VPNをHPE Aruba Networking ZTNAに置き換えて、データセンター、クラウド、または両者の間に存在するプライベートアプリケーションへのゼロトラストアクセスを検討してください。

[HPE Aruba Networking SSEの詳細はこちら](#)

## Path 2: SD-WANから開始

SASEの導入をSD-WANから始めます。HPE Aruba Networking EdgeConnectで単一のSD-WANを確立し、セキュアなエッジポートフォリオ(小規模オフィス/ホームオフィス、ブランチ、キャンパス、またはWAN)を完成させます。

[HPE Aruba Networking EdgeConnectの詳細はこちら](#)

## どこから始めるべきかわからない場合

[SASE専門のコンサルタントと相談して](#)、組織に最も適したアクションプランを決めてください。

<sup>3</sup> 『セキュリティサービスエッジ(SSE)導入レポート2023』、Cybersecurity Insiders社、2023年

最適な導入検討を。  
HPEのプリセールススペシャリストに  
お問い合わせください。



お問い合わせ